

事業報告 「新時代！環境経営と企業力改善セミナー」

「危機の時代を生きる」をテーマに、新型コロナウイルス感染症にどのように向き合うのか、国際政治からの視点と、ウィズコロナ時代の新しい常態について講義を実施した。

① 2020年11月11日(水)

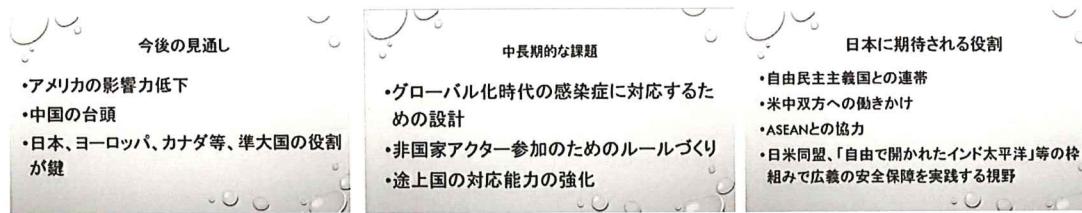
「新型コロナウイルスと国際政治」

講師：詫摩 佳代 氏（東京都立大学法学部教授）

1. 国際保健協力とは何か？
2. 新型コロナをめぐる国際政治
3. 新型コロナで浮かび上がった保健協力の制度的問題点
4. 今後の展望

現在のコロナ禍で見えてきたWHOの役割・位置づけ・問題点を含め、保健協力していくことが政治と深く関係していることを豊富なデータを用いて説明していただいた。

今後も世界では貿易や技術など経済の競合は続いているが、感染症や環境などの分野での対話や協力は不可欠であり、人間の健康は国際協力によってしか守られない。その主張に改めて共感できた。



② 2020年11月11日(水)

「ニューノーマルの時代をどう生きるか」

講師：吉原 直樹 氏（横浜国立大学教授）

コロナ禍でニューノーマルという考え方方が当たり前になりつつあり、人々の考え方や生活スタイルが変わり始めている。「コロナをチャンス」として、新しいデジタル技術の可能性や、SDGsに関連する内容を社会学的観点で説明していただいた。誰一人置き去りにしない持続可能な社会について考えさせられた。

また、パンデミックの意図せざる結果として、これまで実現困難と思われた「未知の未来」への道も見え始めている。

はじめに

- 1 新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナと略称）の影響
 - ・経済への深刻な打撃と社会不安の増添
- 2 新型コロナの取り組みの変化
 - ・「どうおきまるか」よりも「どう切り合いか」へ
 - ・「ポストコロナ」よりも「ウイズ・コロナ」へ
 - ・ニューノーマルと「新しい生活様式」
- 3 人類史的視点の必要性とともにめらむるトランジションデザイン
 - ・持続可能性とグリーン・リカバリー
 - ・スマートシティとコミュニケーション



新時代_経営環境と企業力改善セミナー2020 会場の様子（生活工房セミナールーム）

2020年11月11日（水）「新型コロナウイルスと国際政治」講師：詫摩佳代 氏



2020年12月1日（火）「ニューノーマルの時代をどう生きるか」 講師：吉原 直樹 氏

